

編集後記

(66 卷 第 10 号 2020 年 10 月)

日本中どこへ行ってもほとんどの人がマスクをしている。時々、マスクを忘れて町中に出てしまうことがあるが、していないと犯罪のような気になるので、すぐコンビニによって購入してしまう。そのため家には一枚だけを使った数枚入りのマスクのビニール袋がいくつかある。

本年度が始まって半年が経とうとしているが、まだ素顔を見たことのない研修医や新人看護師さんもいる。孫は今年度から小学 1 年生だが、たぶん素顔を見たことのない同級生もいるのではないかと思う。表情が見えない目だけの付き合いで、本当に信頼関係や友情が成り立つのだろうか。

欧米人はマスクをするのを嫌がるという。たぶん、歴史的に「他人は敵」というスタンスであり、表情が見えないと敵味方の区別がつかないので不安になるのだろうと想像する。日本人は基本的には「他人も味方」なので、マスクに違和感はあまりないのだろうが、やはり表情が見えないことは、人と人との繋がりに大きな支障を来たすように思う。

(小川 修)